

# 岩角山会報

第14号

令和6年6月発行  
発行責任者  
岩角山観光協会  
(岩角寺内)  
住所  
〒969-1205  
本宮市和田字東屋口84  
TEL.0243-44-3354

## 会長あいさつ

岩角山観光協会会長 石橋 實

はじめに、令和六年一月一日発災の能登半島地震により犠牲となられた方々に衷心よりお悔みを申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

さて、日頃より、会員の皆様並びに関係各位には、岩角

山観光協会事業及び岩角寺催事に対し、ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

本年一月三日開催の大梵天祭につきましては、「梵天争奪戦」、「ステージイベント」、更には、「お楽しみ抽選会」など、多くの参拝者の皆様に楽しんで頂き、好評を得ましたこと心より嬉しく思っております。



紅葉の毘沙門堂

ります。皆様の笑顔により、梵天祭が一層盛り上がりましたこと、心より感謝申し上げます。

今年度につきましても、観光推進事業並びに環境整備事業など、皆様のご協力を賜りながら進めて参りたいと存じますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

## 今年も出るか 金の花

岩角寺責任役員 影山 公平

和山の山 岩にうしほの  
流れてや ふもとの水に  
黄金花咲く

この詩は、江戸時代元禄の頃、二本松城主丹羽光重公が詠んだ句で、昔から岩角山境内の清水には、岩肌に金粉をまき散らしたような黄金の花が咲くことで知られています。

いつ何時咲くかは不明で、過去の記録によると昭和四年に現れ、その後長らく咲くことはありませんでしたが、平成十六年七十五年ぶりに咲き大きなニュースになりました。



金の華

### 岩角寺永代供養墓

今年四月から小館墓地に建設していただきました岩角寺永代供養墓が完成しました。

近年の社会環境の変化等により、墓地を維持管理していくことができなくなった方や諸般の事情により墓地を求めることができない方等のため、以前から要望されていた高台に建設されました。

今後は、「天台宗和田山岩角寺永代供養墓管理及び使用規約」に基づき運営してまいります。ご希望の方は、岩角寺にご相談ください。

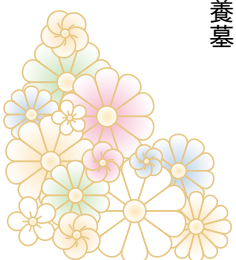
その後は平成二十七年に咲き、それから近年は数年おきに見られています。別名「黄金の清水」とも言われ、お参りすると金運の尽きることはないと言ひ伝えられています。

皆さんにもぜひ見たいと思いたいです。皆さんにもぜひ見たいと思いたいです。出現が未定で宣伝することもできません。

岩角寺では、七月十五日に金華水灯護摩供大祭を開催し、この清水で祈禱しておりますので、岩角山にお越しの際は、ぜひ清水に立ち寄って見てください。



永代供養墓





慈覚大師は西暦794年栃木県で生まれ、864年に亡くなりましたが、9歳で仏教の修業をはじめ、29歳の時伝教大師（最澄：日本に天台宗を広めた開祖）から一心三観の妙技を授けられ師の代講を任せられるようになった僧侶です。



▲報恩供養

岩角山は、仁寿元年（西暦八五一年）慈覚大師（円仁）によって開山（開基）されました。岩角寺には、境内に慈覚大師の像が建立されており、五月二十八日同像の前にて開山報恩供養が行われました。役員約五十名が参加し開山を祝いました。

### 開山報恩供養



▲金花水での祈禱

境内中央に縦、横、高さ約一・五メートルの護摩壇が作られ、午後二時この護摩壇に火が放されました。燃え盛る護摩壇に願い事を書いた木片

が祀られてあります。この清水は、数年ごと不定期に金花水が咲くことで黄金清水とも言われておりますが、金運の清水としても有名です。七月十五日境内において金花水不動尊採燈護摩供大祭が行われました。

### 金花水不動尊採燈護摩供大祭

十一月十一日午前六時から本堂において檀家の皆様約二十人が参加し坐禅会が行われました。参加した皆様は、我が身を



▲坐禅の様子

### 第九回坐禅会と境内清掃

を僧侶が読み上げ奉納しました。



▲採燈護摩祈禱

### ▼初詣に訪れた方



▲元朝祭祈禱

また、年が明けると新年を祝う初詣の参拝者が次々に訪れ、一年の無事を祈っていました。

### 元朝祭と初詣

令和六年元朝祭は、一月一日午前一時から毘沙門堂で行われました。また、年が明けると新年を祝う初詣の参拝者が次々に訪れ、一年の無事を祈っていました。

また、午後二時からは、本堂において節分祭が行われ、年男年女のご祈祷申込者や世話人など約百人が参列しました。参列者には福豆が配られました。



▲節分祭

二の大祭は、二月三日午前十一時から毘沙門堂で行われ、市内外から多くの皆さんがおいでになり御護摩祈禱を受けられました。



▲二の大祭

### 二の大祭と節分祭



# 大梵天祭

一月三日、正月とは思えぬ温かさ、好天に恵まれ、大梵天祭が開催されました。

午前十時十五分から本館二階において、梵天清め式、続いて十一時から梵天奉納行列、大般若転読大護摩供祈祷が行われ、一年間の平穩を祈りました。

境内では、三回、合計十二本の梵天争奪戦が行われ、大勢の人が梵天に駆け寄り一生

懸命奮い合っていました。

境内に設けた特設ステージでは和田小学校和太鼓クラブや安達太良太鼓保存会の演奏、舞踊と歌手原田雪見さんのステージで盛り上がっていました。

役員及び檀家の方々が交代で、梵天の作成、会場準備、案内板の設置など二か月以上にわたり準備を重ねてきた苦労が報われたと感じました。



▲梵天争奪戦

▲梵天奉納行列



安達太良太鼓のショー

和田小学校和太鼓クラブの児童8人による演奏



▶梵天清め式

8人の僧侶がお経を唱え梵天を清めます

ステージイベント  
抽選会などのお楽しみ催し

原田雪見歌謡ショーは二部構成で行われ、観客席の中まで分け入り、お客様とのふれあいを大切にされた歌謡ショーでした。



原田雪見さん



招福餅つきは、他寺からおいで頂いた住職の皆さんも参加し、千本杵で掛け声と歌に合わせて餅をつき上げました。

大梵天祭最後のお楽しみ福銭まきでは、旅行クーポンや白沢とろろ芋などの豪華景品が入っている福銭を手にしようと、お子さんからお年寄りまで多くの参拝者が参加しました。



▶竹割作業

▶餅まき・福銭まき



▶金梵天の作成



梵天祭準備



# 能登半島地震に伴う義援金



▶境内に設置された募金箱

今年の元日に石川県能登半島で発生した地震は、死者及び行方不明者が二百五十人以上という大惨事となりました。岩角寺では、被災された方々を少しでも助けようと、境内に義援金の募金箱を設置し募金活動を実施しています。募金は、天台宗を通して被災地に送られ、復旧・復興に役立ててもらっています。募金をされた方々に心より感謝申し上げますとともに、被災地の皆様が一日も早く元の生活を取り戻せるよう願っています。



## 岩角山の環境整備

### 案内板の整備

岩角山参道入口の案内板を更新しました。県道二本松―三春線に設置されている案内板が古く見にくくなり、大きさも小さいことから気が付かないで通り過ぎてしまっているなど苦情が寄せられていました。今回整備したことにより、参拝や観光に訪れる方が、迷わずお越しいただけると思います。



▶新しい案内板

### 草刈り奉仕作業

毎年七月の日曜日、檀家総出で岩角山の山全体の草刈り奉仕作業を実施しています。



草刈りの様子



今年も、晴天に恵まれ、気温三十四度を超える猛暑の中、参加した皆様は汗をぬぐいながら一生懸命作業をしていました。

### 植木の剪定作業

岩角山は山全体に紅葉やつつじなどきれいに植栽され、参拝客の目を楽しませています。

六月二十一日、伝道師会の会員、観光協会役員と総代の皆様による植木の剪定作業が行われました。参加した皆様は、疲れた

中にもすがすがしい気分になりました。



剪定作業

### 蛇舐石白蛇観音

岩角寺参道入り口に蛇なぶり石白蛇観音が祀られています。この観音様は、白蛇が岩を舐め溶かしたと伝えられる奇妙な形をした岩の上に祀られています。境内から遠いため意識せずに通りすぎてしまい、草木に覆われていましたが、草木を取り除きその奇妙な姿を見ることができるようになりました。



### 境内清掃

岩角寺では、日ごろ檀家の皆様による清掃活動のご奉仕をいただいております。



境内清掃の様子

### 編集後記

新型コロナウイルス感染症が五類に移行され、徐々に普通の生活を取り戻しつつあります。

しかし、コロナ過で失われた地域コミュニティはすぐに回復するものではなく、新しいコミュニティの在り方を模索していかなければなりません。

仏教の教えの基、親切と思いやりを持ち活気あふれる地域社会にしていきたいでしょう。

(編集委員一同)